

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第1区分

【発行日】平成26年4月17日(2014.4.17)

【公開番号】特開2013-36396(P2013-36396A)

【公開日】平成25年2月21日(2013.2.21)

【年通号数】公開・登録公報2013-009

【出願番号】特願2011-173434(P2011-173434)

【国際特許分類】

F 04 B 43/02 (2006.01)

F 04 B 43/067 (2006.01)

F 04 B 45/04 (2006.01)

F 04 B 45/053 (2006.01)

【F I】

F 04 B 43/02 C

F 04 B 43/06 C

F 04 B 45/04 C

F 04 B 45/04 102 B

F 04 B 43/02 L

【手続補正書】

【提出日】平成26年3月5日(2014.3.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

力が作用することによって変形する変形可能部を有する管と、前記管の前記変形可能部に力を作用させるダイヤフラムを具備してなり、

前記ダイヤフラムの変形によって、前記管は変形が起きるよう構成されてなり、

前記ダイヤフラムは、その端部に、oリングを具備してなり、

前記oリング部が凹部に嵌合されることによって、前記ダイヤフラムは固定されてなることを特徴とする流量制御装置。

【請求項2】

力が作用することによって変形する変形可能部を有する管と、前記管の前記変形可能部に力を作用させるダイヤフラムを具備してなり、

前記ダイヤフラムは、

その端部に、oリングを具備し、

ケース体に内装されており、

前記oリング部が前記ケース体に形成された凹部に嵌合されることによって、該ダイヤフラムは固定されてなり、

前記ダイヤフラムと前記ケース体との間の空間に供給・排出される流体量によって、該ダイヤフラムが変形して前記管の前記変形可能部の変形して該管内を流れる流体の流量が制御される

ことを特徴とする流量制御装置。

【請求項3】

前記嵌合されたoリング部の上から該oリング部を押圧する押圧部材が設けられてなることを特徴とする請求項1又は請求項2の流量制御装置。

【手続補正2】**【補正対象書類名】**明細書**【補正対象項目名】**0008**【補正方法】**変更**【補正の内容】****【0008】**

前記課題は、

力が作用することによって変形する変形可能部を有する管と、前記管の前記変形可能部に力を作用させるダイヤフラムを具備してなり、

前記ダイヤフラムの変形によって、前記管は変形が起きるよう構成されてなり、

前記ダイヤフラムは、その端部に、oリングを具備してなり、

前記oリング部が凹部に嵌合されることによって、前記ダイヤフラムは固定されてなることを特徴とする流量制御装置によって解決される。

前記課題は、

力が作用することによって変形する変形可能部を有する管と、前記管の前記変形可能部に力を作用させるダイヤフラムを具備してなり、

前記ダイヤフラムは、

その端部に、oリングを具備し、

ケース体に内装されており、

前記oリング部が前記ケース体に形成された凹部に嵌合されることによって、該ダイヤフラムは固定されてなり、

前記ダイヤフラムと前記ケース体との間に空間に供給・排出される流体量によって、該ダイヤフラムが変形して前記管の前記変形可能部の変形して該管内を流れる流体の流量が制御される

ことを特徴とする流量制御装置によって解決される。